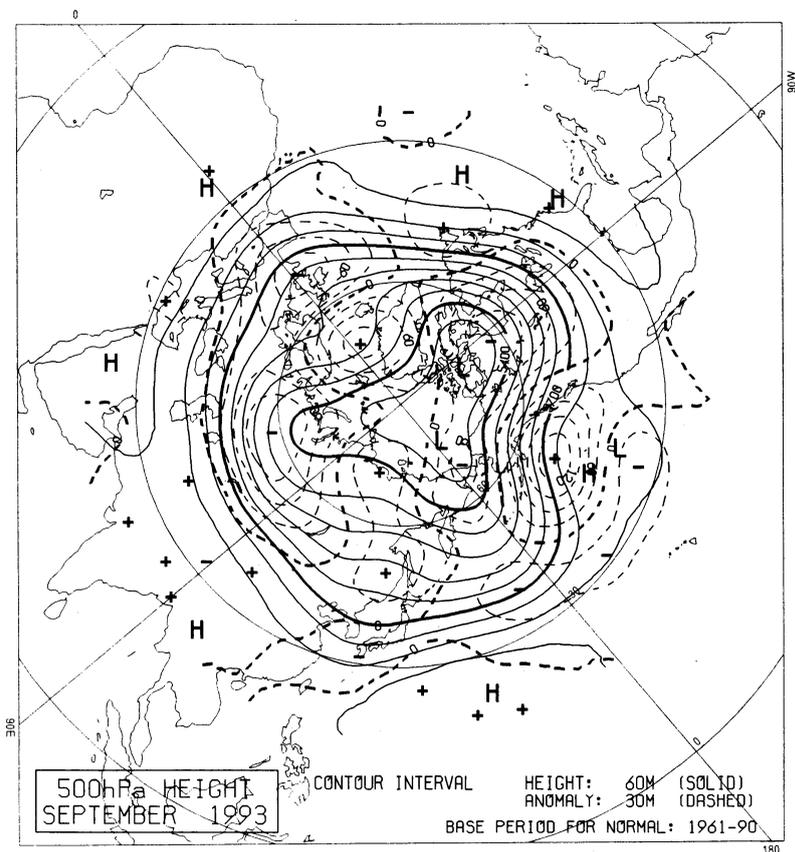


1993年9月の大気大循環と世界の天候 月平均 500 hPa 天気図



(破線は平年からの偏差. 単位m)

表 1 1993年9月の気候表

地点名	気温 °C	偏差 °C	DT/SD	降水量 mm	比率 %	降水 階級	地点名	気温 °C	偏差 °C	DT/SD	降水量 mm	比率 %	降水 階級
パリ	14.5	-0.8	-0.6	83	168	—	カサブランカ	20.8	-0.7	-0.8	16	291	5
ベルリン	—	—	—	—	—	—	ニオロドサヘル	—	—	—	—	—	—
ローマ	—	—	—	—	—	—	プレトリア	20.9	3.2	2.7	26	104	4
イスタンブール	19.6	0.0	0.0	37	82	4	バンクーバー	14.8	0.6	0.7	2	3	1
モスクワ	6.9	-4.0	-2.5	113	173	—	ニューオーリンズ	26.5	0.4	0.3	63	41	2
オデッサ	15.6	-1.2	-0.9	30	73	3	セントルイス	19.1	-1.8	-1.1	233	340	6
ニューデリー	28.1	-1.1	-1.2	250	199	5	サンフランシスコ	17.3	-0.4	-0.4	0	0	2
カルカッタ	28.5	-0.5	-1.3	445	148	5	ニューヨーク	20.2	0.0	0.0	133	159	5
ボンベイ	26.8	-0.8	-2.0	832	321	5	マナウス	28.0	0.2	0.3	22	33	1
ホンコン	27.1	-0.4	-0.8	547	171	5	サンパウロ	—	—	—	—	—	—
チャンチュン	15.8	0.9	1.0	67	109	4	ロサリオ	13.3	-0.5	-0.5	18	39	1
ベキン	21.3	1.9	2.7	18	32	2	ホノルル	27.3	0.7	0.9	3	18	1
シャンハイ	23.9	—	—	174	—	4	タヒチ	25.8	1.1	2.2	39	69	3
バンコク	28.6	0.5	1.0	275	83	—	ダーウィン	28.1	0.3	0.6	14	114	4
マニラ	27.3	-0.2	-0.4	—	—	—	キャンベラ	10.3	1.1	1.1	81	148	5

9月の世界の天候

9月の月平均北半球 500 hPa 高度天気図では波数3の循環が卓越しており、トラフはウラル付近、ベリング海付近、ハドソン湾付近に位置した。一方、リッジはアイスランド付近、中国北東部、アラスカ東部に位置し、その南の中緯度帯には負偏差域が広がった。北半球東西指数は1月以来8か月ぶりに高指数となったが、北半球極渦指数は6か月連続して正偏差となった。

①中国北東部の高温

月を通してリッジにおおわれた中国北東部では平年を1~3°C上回る高温となった。

②シベリア中部の多雨

ウラルのトラフの前面となったシベリア中部では、ヤクーツで月降水量が86 mm (平年の3.4倍) を記録するなど多雨となった。

③ヨーロッパ北部の低温

ヨーロッパのほぼ全域で気温が平年より低く、特に6月からの低温傾向が続くヨーロッパ北部では平年を3~4°C下回る著しい低温となった。また、モスクワで月平均気温6.9°C (平年偏差-4.0°C) となるなど、ロ

シア西部でも著しい低温となった。

④アラスカの高雨

アラスカでは月降水量が平均の2~3倍となった。

⑤アメリカ合衆国中西部の低温・多雨

アメリカ合衆国中西部では、6月からの低温・多雨傾向が9月も続き、コロンビアでは17.1°C (-3.3°C)、306 mm (3.1倍) を記録した。また、夏に大きな洪水被害に見舞われたミシシッピ川流域では、セントルイス付近で再び洪水の発生が伝えられた。

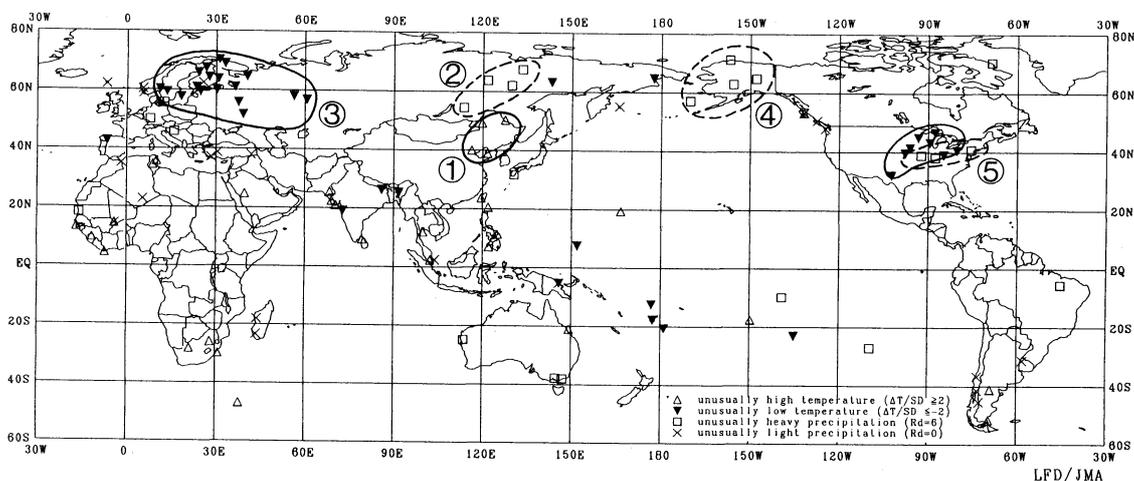
⑥その他

中旬から下旬にかけて、ハリケーンがカリブ海沿岸諸国を通過し、ニカラグア、ホンジュラス、メキシコなどで数十人の死者を含む被害が報じられた。

オーストラリアでは南東部で平年をかなり上回る降水があったほか、ほぼ全域で多雨傾向となった。また、メラネシアで少雨、ポリネシアで多雨の傾向が8月から続いている。

インドでは一部の地域を除き概ね平年並の降水があり、北東部では多雨傾向となった。

(気象庁長期予報課 藤川典久)



1993年9月の世界の異常天候分布図

△：高温 ▼：低温

図中の番号は、本文中の番号と対応している。

□：多雨 ×：少雨

1993年9月の気候表の説明。平均値は、1951~1980年のデータに基づくもの。降水階級は五分位値で、0は最小値より小さい場合、6は最大値より大きい場合。500 hPa 高度場の平均値は1961~1990年の30年平均値。